

# 明日に向かつて

## ともに創る ⑫②

大船渡市長 戸田公明

### 土砂キキクル、洪水キキクル、浸水キキクル

ひと昔前までの台風コースは、春には太平洋を西進し中国大陸に至り、夏には西進から北上しながら朝鮮半島付近に抜け、秋には西進から大きくカーブし日本列島を通過したり縦断したりするのが一般的でした。

今年の台風第1号は、4月中旬、太平洋の沖合を北東方向に通過していきましました。数年前には関東の沖合を西進し、瀬戸内海付近を西進する台風も出現しましたし、史上初の東北上陸(大船渡市付近)の台風も発生しました。このようなコースがひと昔前と大きく違う台風は、温暖化が関与している可能性があります。

今年も6月に入り豪雨災害が懸念される梅雨と台風シーズンがやってきました。先日、盛岡地方気象台関係者と懇談した際、気象庁では危険度分布の愛称を「キキクル」とした旨を伺いました。気象庁のホームページでも「危険度分

いますので、今後は是非必要に応じて活用することをおすすめします。

ところで、河川氾濫の多発を受け、岩手県では管理河川についての氾濫シミュレーションを順次行っており、一昨年盛川について公表しました。それを受け、市では各地区で住民の皆さんとワークショップを開催し、地域における氾濫・浸水・洪水・がけ崩れなどの注意箇所、避難経路、避難所などを地図に表示したハザードマップを製作しました。

3月に、岩手県が綾里川についても氾濫シミュレーション結果を新たに公表しましたので、市では関係する地域の皆さんと共にハザードマップを吟味・改定する予定です。

今後は、時間の経過に伴い、このようなハザードマップの見直しケースが増えてくると思われませんが、市としてはその都度最新情報をふまえて、より安心・安全なまちづくりを進めてまいりますので、皆さんのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

布の愛称はキキクルに決定！」と表示され、3つの「キキクル」が示されています。

①大雨警報(土砂災害)の危険度分布を「土砂キキクル」

②大雨警報(浸水害)の危険度分布を「浸水キキクル」

③洪水警報の危険度分布を「洪水キキクル」

危険度分布の色分けについては、現状のものから変更され、6月30日から次の通りとなる予定です。

黒(災害切迫)、紫(危険)、赤(警戒)、黄(注意)、無色(今後の情報等に留意)

ホームページでは、土砂災害、浸水害、洪水害毎に日本地図が掲載されており、気象状況が悪化し始めると5色のキキクル表示がなされます。

特にも台風接近時などには、ホームページ上の日本地図を拡大すれば、順次、岩手県・大船渡市・地区の状況などが、「キキクル」表示され状況が一目で確認できるようになって

申込フォーム



## 「海辺の生物観察会」参加者を募集します

海辺に住むさまざまな生物は、その種類に合った観察方法があります。多様な観察方法を学び、身近な海へ理解を深めてみませんか。

▷日時=7月17日(日)午前9時30分~正午

▷会場=浦浜海岸(三陸町越喜来)

※午前9時20分までにど根性ぽぷら広場に集合ください。

▷対象=気仙地区にお住まいの小学生以上

※小学生は保護者同伴の上参加ください。

▷講師

・朝日田 卓(北里大学海洋生命科学部教授/当館専門研究員)

・片寄 剛(岩手県沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター技師)

・熊谷 賢(陸前高田市立博物館主任学芸員)

・浅川 崇典(陸前高田市立博物館学芸員)

▷定員=30人程度

▷参加費=無料

▷持ち物=筆記用具、飲み物、帽子、濡れてもよい靴または長靴(サンダルなど足の保護ができないものは不可)、手袋(軍手や作業用手袋など濡れてもよいもの)、動きやすい服装(長袖長ズボン)、マスク、熱中症対策用品

▷申込方法=電話または博物館ホームページのフォームから申し込みください。応募者多数の場合、抽選の上電話で連絡します。

▷申込締切日=6月28日(火)

▷申込・問い合わせ先=市立博物館(☎292161)